

学研春秋

第71号

令和6年(2024年)
3月発行

題字: 高橋秀鋭
(号 洋風)



78回大会参加者氏名 (会員60名 敬称略)

＜来賓＞ (株)学研ホールディングス 代表取締役社長 宮原 博昭
" 取締役・MCS 社長 山本 教雄
" 上席執行役員 細谷 仁詩

(株)学研ホールディングス 執行役員 川端 篤
" 執行役員 西郷 直子

＜会員＞ 安部隆 荒井久男 安藤昌和 飯田弘 井田昌夫 伊藤正宏 井上義弘 伊與部史朗 岩崎文俊 内田安茂 遠藤久光
大井恒晴 大久保匡信 大橋敏剛 岡俊彦 岡村弘 忍足恵一 川西義規 紀本智三郎 倉持三郎 小杉皓男 小西貞人 酒井毅
塩園彦 篠崎作三郎 白石一清 菅原徳太郎 鈴木昭三 関口一郎 瀧澤真 田中勲 谷口裕治 谷口義博 反頭義光 塚田ちよ子
堤満弘 中居栄太郎 仲田雄一 永松久幸 中森知 西島一 原正 原田耕一 日向邦夫 平岡雅雄 平田伸一郎 平野光徳 福山通彦
藤原郁久 細井伸一郎 本多由利子 牧野重夫 真当哲博 丸山尊義 水野隆二 村上裕也 森一郎 守田志郎 和田保男 綿引英子

第78回秋季大会を 学研本社で開催

第78回秋季大会は、令和五年十月二十九日(日)に、学研本社ビルにて、会員六十名が参加して開催されました。学研ホールディングスからは、宮原博昭代表取締役はじめ五名の方々に臨席していただきました。

記念撮影の後、学研ホールディングス取締役でメディアカル・ケア・サービス株式会社(株)の山本教雄社長から「認知症の予防・改善・緩和」という題の講演をしていただきました。

第一部は、先ずこの半年の間に逝去された七名の方々のご冥福をお祈りして黙祷をささげました。続いて鈴木春秋会会長の挨拶があり、次に宮原社長からご挨拶をいただきました。

そのあと、新入会員と大会初参加の三名の方々に自己紹介をしていただきました。次に、鈴木会長より今年度をもって会長を退き、次期会長として安部隆副会長を推薦する旨の話があり、満場一致で承認されました。

第二部は13階に移動し、冒頭に、細谷仁詩上席執行役員、川端篤執行役員、西郷直子執行役員からご挨拶をいただきました。懇親会は、原正さんの乾杯の発声でスタート。豪華弁当を食べながら、楽しい歓談のときを過ごしました。その後、ビンゴゲーム、抽選会と賑やかに進行し、「学研社歌」「学研音頭」「ふるさと」を歌ったあと、塩園彦さんの閉会の挨拶で終了しました。

会員には学研ホールディングスから提供された本をお土産にお持ち帰りいただきました。

学研春秋会第78回秋季大会 会長挨拶

学研春秋会会長 鈴木 昭三



本日の第78回大会に63名の会員から出席のほがきをいただきました。コロナ禍がほぼ落ち着いた昨年の2回の大会、そして今年の春の大会ともに参加会員は60名に満たない数字でした。ここきて、やっとコロナの前に戻ったという感を深くいたします。

今日の大会が久々に学研ビルでの開催ということも大きいと思います。西島一さんからいただいたほがきには「今回は本社ビルでよかった」と記され、平田伸一郎さんのほがきには「初めて学研本社ビルを観ることができるので、大変うれしく思っております」とありました。学研HDから宮原社長はじめとする方々にご参加いただき、多額の御祝金を頂戴いたしました。そのうえ、参加賞をはじめとする賞品を数多くご提供いただきました。心から御礼申し上げます。

私が学研を60歳で定年退職して学研春秋会に入会したのが

2005年です。そのときの会員数は440人。10年後の2015年は388人。その8年後の今年2023年は300人を切って294人になっています。何せ高齢者の集団ですから、お亡くなりになる方、また病気などの理由で退会される方がおられます。いろいろの方にご協力をいただきながら入会のおすめをしているのですが、なかなか思うように進みません。ここは粘り強く皆さんと一緒に取り組んでいくしかないと思います。引き続きご協力をお願いいたします。

さて私が会長になって3期、6年目になります。年齢も79歳になりました。皆さんから文字通りのご支援、ご鞭撻をいただきながらですが、なんとか務め上げるのができたように思います。本当にありがとうございます。

今日は初めて出席された方、久々に出席された方、前回に引き続きの方など、いろいろな方がおられて、様々な出会いがあることと思います。お弁当をつきながら、お酒も上手に飲んでいただき、さらにゲームを楽しんでいただくなど、明るく元気に過ごされますようお願いいたします。

学研グループの現状と今後について

学研ホールディングス代表取締役社長 宮原 博昭



学研春秋会第78回大会のご開催、誠におめでとうございます。今朝ほどの雨にも関わらず、皆様には学研ビルまでお越しくださりありがとうございます。

おかげさまで数字は、14期連続の増収で、利益は後少しという形でした。今一番私が目指しているのは、1990年の過去最高売上1726億円を、今期超えることです。私としてはそれが一つの節目です。そしてV字回復していく過程でのもうひとつの目標は、最高利益の更新であり、さらにはもう一つ、2000億行きたいと思って頑張っています。この、V字回復を特に支えてくれたのは、今ここにいらっしゃる元専務の中森さんですが、一つの節目までは来たなと思います。

過去の最高利益120億は、1979年ですね。GKが元気でマイコーチなどもあった頃ですけれども、そこが節目でした。今やその時を知っている現役の人はいないですね。今日出席している取締役の山本は44歳で、細谷が37歳です。細谷は現在ホールディングスの上席執行役員ですが、年末には取締役就任予定です。川端も執行役員で45歳。そしてダイバーシティを進めていくためにこの10月から執行役員に西郷がなっています。今日出席の者は、これからの学研グループを20年くらい伸ばしていく面々です。たぶん1兆円くらいの企業にまでしてくれると思っています。

先ほどの山本の講演は介護の話でしたが、学研の介護の施設数は日本一。品質も日本一だと思っています。学習科学の販売チームの新規事業として2004年に起ち上がりました。ウェルネス事業部から始まり、大赤字のなかカタログ販売などいろいろ手掛けながらやってきたのが、高齢者住宅のほうへ転換する形で伸長しました。

これからは認知症患者が750万人になるといわれ、その数は、残念ながら義務教育の生徒数を超えてしまうものです。つまりマーケットとしては、認知症患者のほうが大きいのですね。サービス付き高齢者住宅（サ高住）という比較的元気な高齢者を対象とした事業と、5人に一人が認知症になっていく時代の

の事業とが学研グループに加わってきたのです。サ高住への進出は、はじめは海のものとも山のものともわからない時に投資するという決断でした。赤字だらけの厳しい中、一つだけ投資させてくださいと言ったところ、「15棟を限度にいい」と言われてスタートしました。今でも覚えていますが、当時8カ月で単月黒字というAプランを進めていたのが、うまくいかないと1年3カ月になると言われてBプランに転換したのです。当時、中森さんが支援してくれたのでできたのですが、その時の当期利益が2千5百万円で赤字転落寸前だったのを、何とか逆転してやり抜き、今があります。

一方で教室事業ですが、川端執行役員が責任者をやっていますけれど、これは明らかに学習科学の教材が売れなくなっていく中で、教材に人をつけてほしいという話を受け、オーナーが1980年に古岡奨学会と一緒に作った事業です。学習・科学、マイコーチ、トッププランが低迷していく時代にあって、学研教室が花開いていくのです。しかも学研教室の生徒さんはやがて塾にも行きますから、学研教室のその先の事業として、日本全国各地の塾をグループブインしていこうという形で、展開を見せてきました。

このことからわかるように、現在の学研の2つの軸とも言え

(3) 第71号

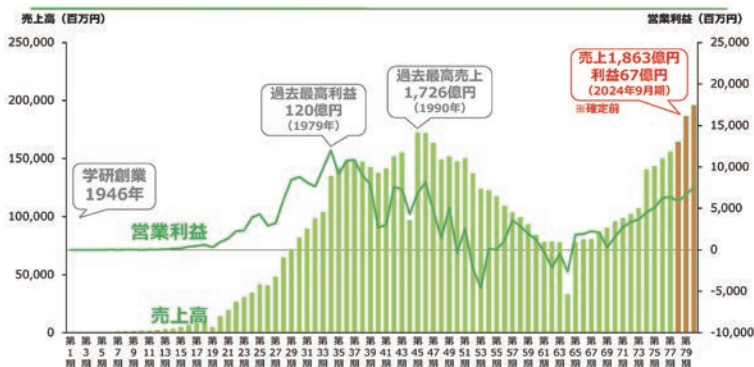
る教育事業と医療福祉事業というのは、創業である学習科学から始まり、延々と続いているのです。販売チームが新規事業を立ち上げ、同時に編集者は教材に先生を付ける、という流れできているという面では、創業精神を大事にしながら、考え抜きながら、ここまで発展してきたと言えます。

ところが、介護も2040年くらいまで実はピークは終わってしまいうのです。今から7、8年で花開いたとしても、2030年にはギリギリ間に合うという余裕のない感じとなります。そこで第三の柱を創っていかねばなりません。DXとかグローバルといったところで、一生懸命に今、開拓している最中になります。

出版のほうはどうなるのかというと、今年はちよつとピンチだったのですが、その前の2年間はコロナ特需もあり、よかったですね。このあたりには資格系の本など、挑戦するところはまだまだありますので、しっかりとやっていく予定です。認知症や介護の分野でも出版に挑戦していきます。

皆さんが現役の時、学研はトップの出版社でしたが、私が社長になった時、学研の出版社としての立場は7番目くらいで、文藝春秋社、新潮社より下でした。前任の遠藤社長から、「どんなことがあっても出版だけ

学研グループ業績推移。今期は過去最高売上を超える計画値。



は守って」と言われていたので、私はそれを次の社長にもきちんと伝えるつもりですが、逆に遠藤社長からはそれしか言われなかったですね。私も業界の中のプレゼンスをあげるために頑張って、今は、日販の社外取締役をやっており、出版センター長という出版9団体の長もやっています。これはなかなか結構すごいことなのです。会社的には、学研は今や講談社、小学館、集英社、学研で、KADOKAWAより上です。数字的には下でもKADOKAWAよりは上の立場でやっております。今後は、ベスト3に返り咲いて、



皆様方が尽力されてこられた出版業界、教育業界一位を目指し、介護業界の一位も狙い、第三の柱を打ち立てるべく挑戦という絵は描けています。彼らのような若い勇士たちが近くにいると、私としても頼もしいですし、是非皆様からも応援していただきたいと思っています。長くなりましたが、是非ご健康に気をつけられる共に、春秋会もスタッフ不足で悩んでいらつしやるようですので、是非スタッフに手を挙げていただいて、今後とも春秋会が繁栄されますことを祈つてご挨拶とさせていただきます。

講演会

認知症の予防・改善・緩和

学研ホールディングス取締役
メディカル・ケア・サービス代表取締役社長

山本 教雄



本日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。私からは、認知症の予防・改善・緩和についてお話させて頂ければと思います。

歳を重ねれば誰でも物忘れをしてしまいます。しかし、これは生理的現象で病気ではありません。物忘れは、体験した出来事の一部を忘れることであり、忘れたことに関連する情報があれば思い出すことができます。

一方で、認知症は体験したこと自体を忘れてしまう病理的現象です。認知症は脳細胞の変性や萎縮等による壊死によって起こる病気ですが、原因疾患は70種類以上あると言われています。アルツハイマー型認知症が最も多く、約7割を占めています。次いで、約2割が脳出血や脳梗塞を代表とする血管性認知症です。

認知症には、二つの症状があります。一つ目は「中核症状」。

〈認知症ケアのポイント〉

- 否定しない
- 無理強いしない
- 取り上げない
- 独りで抱え込まない
- 現状を受け入れる
- 休息する

それでは、いつ病院に行くとよいでしょうか。発見のタイミングが早ければ早いほど、認知機能の回復や改善の期待が高まります。効果的な予防のためにも、明らかに調子が悪くなる前の受診をお勧めします。「あ

脳の神経細胞の破壊によって起こる症状で、代表的なものは記憶障害です。特に直前に起きたことも忘れるような症状が顕著です。もう一つは「周辺症状」。脳の障害により生じる精神症状や行動異常のことです。具体的には、妄想や抑うつ、不安などの精神症状と、徘徊、興奮、攻撃、暴力などの行動異常が見られます。脳の障害を背景に、その人の性格や環境、人間関係などが絡み合って起こるもので、症状は人それぞれ異なり、接する人や日時によっても大きく変わります。

れ?おかしいな?」と思うことがあれば、まずは病院に行ってみて下さい。全国には、約500の認知症疾患医療センターがあり、そこでは認知症専門医の診断やMRI等による高度な検査を受けることができます。

血管性認知症を除くと、多くの認知症は急に発症する病気ではありません。認知症と診断を受ける前の段階を軽度認知障害(MCI)と呼びます。MCIになると必ず認知症に進行するわけではなく、予防に効果的な活動をすることで健康な状態に回復させたり、認知症に移行する期間を遅延させたりすることができます。

先月、認知症治療薬「レカネマブ」を厚生労働省が正式承認しました。これまでの認知症に関する薬は、症状を抑えたり、進行を緩やかにしたりするものでしたが、このレカネマブは、アルツハイマー病の原因物質に直接働きかけ、取り除くための初めての治療薬です。ただし、既に認知症が一定以上進行している場合にはこの薬の効果は発揮できません。効果が期待できるのは、認知症を発症する手前のMCIから認知症を発症した直後の状態の方までとなります。

続いて、認知症予防についてお話させていただきます。認知症に

ならないために、一体何をしたらよいのか悩む方も多いのではないのでしょうか。本日も配りしている資料に「フレイルチェックシート」がありますので、ご自宅に戻られましたら一度回答してみてもらえればと思います。フレイルとは、加齢によって筋力や認知機能、社会とのつながりといった心身の活力が低下した状態を言います。チェックシートの結果によってはフレイル状態、もしくはそれに近い方もいらっしゃるかもしれません。自信がない設問や点数を下げる回答となった項目については、行動や習慣を改めることで、フレイルの予防・改善に繋がります。特に次の3つは重要だと言われています。

- 外出／家族以外の人と会話
- 習慣的な運動
- よく食べる

フレイル状態を予防することは認知症を予防することに最適です。

世界保健機関(WHO)から、「認知機能低下および認知症のリスク低減のためのガイドライン」が公表されています。全部で12の項目がありますが、本日の資料には特に関係性の高い「運動」「栄養」「高血圧」「糖尿病」の4つの項目を記載しています。社会交流や運動は認知症予防に効果があると言われています。

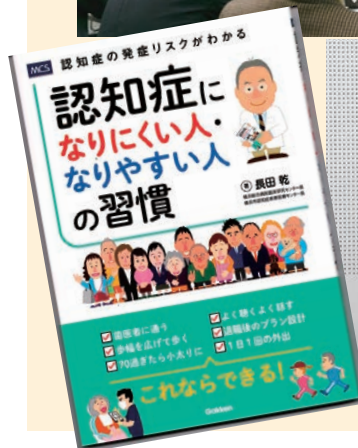
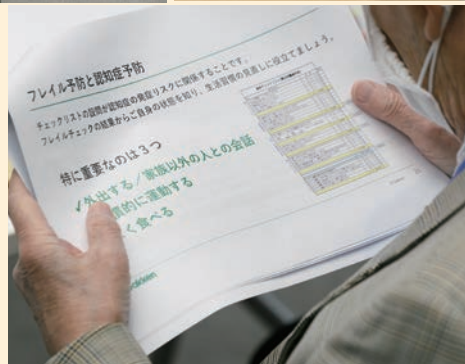
ウォーキングが最も気軽に始めやすいのではないのでしょうか。ひとりでは黙々と歩くこともよいですが、できれば誰かと一緒にしゃべりをしながら一定のペースを保ち歩く方がよいです。また、単に運動をするのではなく、「運動+〇〇」をすることで

効果的な予防活動となります。コグニサイズという運動方法が有名ですが、神戸大学が開発したコグニケアは、オンラインで受講が可能です。メディカル・ケア・サービスで運営をしている「健達ねっと」という健康情報サイトでは、コグニケアを開発した神戸大学の古和教授の記事を掲載しております。本日の配布資料にも入っておりますので、是非ご覧いただければと思います。

食べ物については、何を食べるかというよりは、特定のものに偏らず、バランスの良い食事を取ることが認知症予防には効果があると言われています。最近では、「認知機能の維持・向上」や「認知症予防に効果的」という食品やサプリメントが多く発売されていますが、森永乳業のヨーグルト、伊藤園の抹茶、山田養蜂場のサプリメントは、一定のエビデンスがあるとされています。効果に個人差はありますが、何を選べばよいかわからないという方は参考にして頂ければと思います。

最後になりますが、皆さんへ書籍をプレゼントさせて頂きました。こちらの「認知症になりにくい人・なりやすい人の習慣」は、横浜市の認知症疾患医療センターの長田先生にご執筆いただいた、先日メディカル・ケア・サービスから発刊いたしました。

た。本日の限られたお時間の中では、認知症の予防・改善・緩和について、なかなか全てをお伝えすることはできませんでしたので、是非お時間とおありの際にご一読いただければと思います。本日は誠にありがとうございました。



会員からのメッセージ

大会出欠の返信はがきから転載しました。スペースの関係ですべては掲載できませんでした。内容は昨年の10月の時点です。

（青柳努）体調不良です。

（秋谷俊之）（公財）古岡奨学会で、充実した日々を過ごしています。

（安部隆）朝の散歩、一日三句を日課にして、毎日を過ごしています。

（阿部利隆）米寿が近くなると足腰が弱くなり、70代とは明らかに違うと感じています。まさにスローライフ、スローライフです。

（碓石眞彦）相変わらず元気でやっています。来年の2月で80歳になります。



（石原寛二）ありがたいことに、まだ病院通いの日程はありません。

（井田昌夫）マイカー廃車届け、免許証今年末で返納予定。

（伍井達朗）9月から学研データーサービスの業務に携わっています。初めてのことはばかりで、新人に戻ったようです。

（井上義弘）前回の大会で、傘寿のお祝い、ありがとうございます。

（伊與部史朗）仕事を終え、さあ、何をするか、考え中です。

（岩野一夫）最近株式投資を始めました。朗読、音訳、囲碁活動はしていますが、ヘラ釣りはやっていません。人生、楽しみたいのです。

（岩間勇水）昨年末頃から身体の不調がいろいろと出てきて、それぞれの病院に通院しています。

（上野雅道）毎日欠かさず飲酒・菌磨き、週に3回スポーツジム、月に2回ゴルフ、年に1回健康診断と、規則正しい生活を仙台で送っています。

（内田安茂）毎朝散歩をしています。速度が落ちていますが、同年代の女性にも追い抜かれ、複雑な気持ちです。

（宇野修平）元気で毎日を過ごしてまいります。近所の散歩が体の運動となっております。

（遠藤久光）毎回、学研春秋会報を見るのが楽しみです。日常的には決して無理をしないこと、折々の子どもたち（いずれも50歳以上）との会合、会話を楽しみたいと思っています。

（遠藤博）住まいの大規模工事が、3月1日から9ヶ月間施工されているために、何かと忙しくしています。

（遠藤暢喜）8月に手術をして、順調に回復しています。

（大井恒晴）小食になったのに体重が減らないのはなぜでしょう。その分、間食が増えたからです。

（大北義昭）今年のGWに、レストランを開店いたしました。元気に頑張っております。

（大久保匡信）コロナでの規制がなくなり、人と会う機会が多くなりました。嬉しい限りです。人に会い、いろいろな話をするのが、ボケ防止と生きる活力になっているように思います。

（大竹光夫）緑内障はいろいろな病気と付き合いますが、近所のパートもまだ続けており、勤続14年を越えました。ただ、夕方から深夜の勤務のため昼夜逆転の生活のためか、不眠症に悩まされています。

（大塚秀樹）病気もせずに元気に過ごしております。9月からウォーキングを開始して、健康維持に励みます。

（大西三喜男）学研春秋70号の会員からのメッセージを読ませていただきました。65歳以上の7人に1人は認知症となっている現代において、少なくともここに名前があり掲載されている方々は認知症ではないと思われる同慶至極に存じます。新しいことに挑戦される方、社会活動に参加される方、適当な運動、食事の気配りなど、学研OBの方々は素晴らしいですね。こういう方々は認知症とは無縁です。皆さん「自分は若い」と思い込

み、健康第一でハツラツとした人生を送りましょう!!

（大橋圭介）足が弱くなり、交通機関で外出はできなくなりました。私の住んでいるところは鎌倉の西側で、自然の景色のよいところです。そこを散歩して足がこれ以上弱くならないように努めています。

（忍足恵一）今年は春先から身体具合が悪くなり、苦勞しています。右肩の腱板断裂に始まり、左足の変形性股関節症になり、今は腰椎すべり症をわずらって運動ができません。

（小野寺哲也）元気でやっています。

（甲斐田陸記）毎年ダイビングツアーで出かけていた沖縄宮古島の海に会いたくて、6月に観光中心（潜りなし）の宮古島ツアーを計画。手続き完了のあとで台風11号が接近。飛行機が全便中止。計画中止で残念無念!!

来年は体力的に???
（影山皓一）夜空を見上げればお月様が二つ三つ。覚悟して、やっと手術して一つになりました。飛ばない、入らない、あたらないの三ないゴルフ。他にやることもないのでやめられない。四つめのないです。生命だけはしばらくあるようです。「ある」をもっと見つけるようがんばるところです。

（金子尚道）お陰様で、元気で社会保険労務士、行政書士として活動しています。

（金子幸雄）昨年10月に胃の全摘出手術をうけました。11ヶ月経過しましたが体調が良くなり、70kgあった体重が51kgに。早く元氣を取り戻したいです。

（金丸幹尚）85才です。杖は持っています。20数年間続けている詩吟も指導者の松本一夫さん、小倉弘さんが逝き、現在学研のメンバーも6人となり、地元の人たちと15人位で、毎月2回楽しくやっています。

生かされた命、残り時間はどの位かな? 神のみぞ知るです。これからは、ユルユルと成り行きまかせです。感謝! 感謝!
（川上親孝）お陰様で日々過ごしております。

（河崎伊知郎）体力も知力も衰えてまいりましたので、現役生活もあと一年ちよつとでピリオドと考えております。

（川西義規）元気で。最近、体力の衰えを感じます。毎日歩いています。健康のため。

（川村正孝）両足ヒザ下のシビレが強く、痛みも加わって少々歩行に支障が出るようになりました。現在懸命にリハビリ中です。

（木村万紀子）左手首を骨折し、半年間不自由な生活を送りました。高齢者は回復に時間がかかるので、皆様もお気をつけください。

（木目田博）やっと秋らしくなりました。

〔紀本智三郎〕毎週月々金の朝の15分間、NHKのラジオ英会話をきいています。先日、箱根の温泉で外国人に日本の入浴マナーを教えたら、とても感謝されました。これも、効果の一つです。

〔國光義彦〕元気に過ごしています。

〔倉持三郎〕年相応に、元気に過ごしています。

〔黒羽正一〕猛暑続きの8月より司馬遼太郎の本を読んでいる。司馬遼太郎が語る日本(朝日新聞)全6冊。草原の記(新潮社)街道をゆく(朝日文庫)全43冊

全巻購入手配。現在85歳。終活断捨離を求められる身。同居人より、蔵書を増やすことに覺悟を買っている。

〔小杉皓男〕去年5月に「腰部脊柱管狭窄症」を患う。「おつ、ついに来たか」の思いで、歩くより自転車の方が腰に負担をかけないことを知ったので、今や大和市内はどこでも自転車移動のおかげで、市内のナイススポットをいくつも見つけることができました。

〔小西貞人〕コロナの影響もあり、出かける機会が減り、在宅時間が長くなりました。暇つぶしに日本棋院のネット対局幽玄の間に接続、囲碁を打っています(2段)。対局数は2万局を越えました。

〔近藤新平〕最近家内に病気をされ、入院してしまいました。

家に居ても話す人もなく、心に大きな穴がポツカリとあいてしまいました。ケンカばかりしていた頃が、とてもとてもなつかしく感じられます。好きな囲碁も打つ気がせず、長生きはするものではないとつくづく感じられる今日この頃です。脊柱管狭窄症となり、足がムクンでシビレてきて歩くこともままならずといったところです。(92歳老人より)

〔斉藤啓〕ボケと老化防止のため、毎朝のラジオ体操と週2回の麻雀を続けております。(いずれも自治会館で)

3回目のピースボート世界一周旅行(88歳時乗船予定)を申し込んでいますが、その時点での気力・体力を心配しています。

〔坂本登〕コロナの5類移行後、高校有志の会、クラス会、大学クラブの幹事会・OB会、G社OB・OG会などと会合案内が増えてきました。小中学校の忘年会も期待しています。

〔佐々木英夫〕90歳。昨年6月脳梗塞を発症。現在もリハビリ中です。次回79回春季大会参加を目指して頑張ります。

〔佐藤敏和〕元気にやっています。年齢に合わせたウォーキングと筋トレに励んでいます。

〔佐藤浩二〕おかげさまで夫婦共々、コロナにも感染せず今年も5月・7月と旅行することが出来ました。

〔佐藤八郎〕古稀を過ぎて記憶

力の衰えが顕著になったことを痛感。70代を人生のピークにしたいと考えていたこともあつて、そろそろグスコ出版の仕事からリタイアしようと考えているところです。

〔重野隆弘〕シニア勤務もあと一年余りとなりました。体調管理をしながら、勤め終えたいと思っています。

〔篠崎作三郎〕相変わらずパソコンのボランティアは続けています。そのおかげで、私の体調は維持されていると信じているからです。あとは、ボケ防止かな……?

〔島田雅昭〕体調が衰え、通院、在宅が続いています。

〔清水敏〕年には勝てず、生命に関わる内臓の病気はありますが、誤のわからぬ痛みがあらちこち発生しています。こうした悪い状態の中で、月3回のゴルフは何とかやっています。



〔白石一清〕一日に三千〜五千歩歩いています。だいたい足が弱ってきました。大学時代の友人は、毎日運転をしたり、市に頼まれて草取りをしたり、野焼きを手伝ったりして元気に過ごしており、うらやましい限りです。今度11月頃に、彼ともう一人の友人と三人で旅行に行く計画を立てております。

〔鈴木正二〕5月の春季大会に初参加。超久し振りの方々とも直接お会いできたことにより、懐かしさとまだまだこれからのという激励を頂いた気になりました。

〔鈴木禹志〕元気で。歩く力がだいたい衰えたと感じていますが、なるべく外を歩いています。まだ新しいことが体験できると前向きな姿勢です。

〔鱸洋之〕月10Rペースのゴルフを満喫中。今夏の猛暑は早朝6時台〜スループレーでも汗だくで、地球沸騰化の脅威を感じる100日間でした。

〔杉山茂生〕今夏の酷暑は、これまでの人生で初めてでした。これは皆様方も同じですが、90歳を越えた老人には特にこたえました。歩くのも衰え始めましたが、何とか生きながらえています。

〔関口一郎〕9月10月に入ったら堰を切ったように、周年行事や友人の展示会、集会、研究会、探索会などが出てきました。体調に気をつけながら参加したいと……。

〔高橋脩〕足・腰の治療の毎日です。

〔高橋秀統〕ボケ防止策として、難読漢字や歌詞や中国語基本単語等の暗記に挑戦中です。

〔瀧澤眞〕長いコロナも一段落?ようやく外出開始。本社訪問も久しぶりです。大会で皆様にお会いするのを楽しみにしています。

おります。

〔田中勲〕毎日ウォーキングを続けて約40年になりました。体力はだいたい落ちましたが、ほとんどのスピードで歩いています。

〔田中茂樹〕趣味や家庭菜園などで、元気に暮らしております。

〔田中剛之〕体調不良です。

〔谷口裕治〕10年前に脳梗塞で半身不随になり、集中治療室で幽体離脱まで体験しました。今は、独自メソッド進化系瞑想を教えています。

〔谷口義博〕暑い日が続いていますが、ボケ防止と運動を兼ねて畑で野菜作りを行っています。食の健康も思っています。いつまで続くか?考える日々です。

〔反頭義光〕元気で過ごしております。外出の機会が少なくて下半身が弱くなりました。

〔近松功〕毎週木曜日午前中、卓球クラブに参加して、相変わらず楽しく練習に励んでいます。

〔塚本正人〕私が役員を務める「白井ふるさとづくり協議会」が、永年にわたり主体的にまちづくりに取り組んできた功績が評価され、国土交通大臣表彰を受賞しました。仲間が集まって祝盆をあげました。

〔筒井昭正〕まだまだ暑いですが、週一でグランドゴルフに出かけたり、琵琶湖周辺の道の駅に出かけております。コロナが早く終息し、皆さんに会えることを願っております。

(堤満弘) ゴルフと合唱の練習や演奏会と、楽しく忙しい日々を送っています。

(中居栄太郎) 山の日、富士登山をしました。日本最高点剣が峰お鉢巡りも行い、ご来光を満喫してきました。

(中沢陸彌) 相変わらずです。

85になりましたが、元気で働き、楽しく遊んでいます。

(中島正博) 夫婦そろって病気にふりまわされた2年6ヶ月でした。とどめは妻の足首の骨折。おかげで夫の私は家事全般の体験学習をすることができ、老後にそなえることができました。(すでに老後ですけど……)

(仲田雄二) 毎日常の廊下で、能楽の舞いの練習をしています。そり、そりで、少しずつ上達していますが……「夢は枯野」をかけめぐっています。

(永松久幸) 喜寿と金婚式の合同のお祝いを、身内で実施してもらいました。77年間の歴史と思いが懐かしく思い出され、楽しいひとときを過ごしました。**(中村裕之)** 生け垣のツツジ、ヤマボウシ、ロウバイが一年で成長。植物の強さと成長に感動しています。草むしりが課題です。

(野口元) 今年の天候不順は、腰痛も大変でしたが、少しばかりの家庭菜園も大被害でした。葉ものは全滅で他の夏野菜も通常の5分の1ぐらいでした。農家は大変ですね。

(野村耕司) 元気でやっています。**(野村実)** 感染症にもかからず、元気にしています。

(原正) 心臓にコードレスペースメーカーを入れました。これは12年保つといわれます。すると百歳まで生きねばなりません。

(原田耕二) 喜寿を迎え喜ばしいことが続くのかと思いきや、PCが壊れプリンターが連動せず、電子レンジも壊れ買い換えました。私も買い換えられれば良いのだけど……

(東寛治) 暑さのため、7月より中断していた散歩を9月より再開しました。元気に暮らしています。

(東武) 腰痛がひどく、歩行訓練をしています。

(平岡雅雄) 武蔵一宮氷川神社で行われた薪能を鑑賞しました。伊勢物語にある在原業平にちなんだ杜若(カキツバタ)という能で、杜若の精の女性が現れて舞います。地謡、鼓中心の鳴り物をバックに、能面をかぶり、さらびやかな衣装を身につけた能楽師が、独特のゆたたりとした足さばきの所作を見せました。なんとともいぬ空間を味わえました。残念ながら、開演前に説明を受けたのですが、具体的なところはわからずじまいでした。

(平田伸一郎) 初めての学研本社ビルを観ることができたので、大変うれしく思っています。**(平野光徳)** 妻の病状が小康状態なので、大会には出席します。

(平山正徳) 足が不自由ですが、元気にしています。

(日向邦夫) コロナ禍も騒がなくなり、老人会でも行事が増えています。脊柱管狭窄症はつらくてたまりませんが、我慢我慢の連日です。

(福江敏明) 持病(?)の腰痛で、長時間の移動が厳しいです。

(福沢弘行) 4月に両目の白内障手術を実施。術後の経過も良く、運動免許証更新も無事合格しひと安心です。今年は猛暑で家庭菜園には苦勞しましたが、夏野菜は終了し、漬物用野菜に力を入れているところです。

(福山通彦) 美味しいもの、珍しいものを探しに、あちこちに出かけたいと思っております。

元気で毎日過ごしております。**(藤原郁久)** 猛暑でだらけた夏が続く、年とともに体力の減退が加速してしまいました。健康のためにと一念発起して、会津駒ヶ岳と魚沼駒ヶ岳のK2ならぬ駒2を登ってきました。久しぶりの登山でバテましたが、若者のように汗をたっぷりと気持ちよくかいてきました。

(松下勲光) 相変わらず、毎日畑に出勤しています。今年は6月8月に雨が降らなかったため野菜が不作です。特に里いもは70%が枯れてしまいました。また、秋のジャガイモを9月に植えたのですが、暑さが続いたために腐ってしまいました。

(真当哲博) 今、保育園と幼稚園で働かせていただいています。現役時代は分かったふりをして児童書や保育雑誌を作っていました。それってホントに子どものこと分かってたのか、という答え合わせをしている日々です。

(三木文夫) まずまず元気で過ごしていますが、足・腰の痛みでままならぬ状態が続いています。

(水野隆二) 2年前、ご存じのレインボーブリッジを歩きました。行きは徒歩で帰りはバス。あの360度の眺望をもう一度、90歳の区切り?と、足の不自由を乗り越えて近々チャレンジします。

(村岡勝美) 年2回の家族旅行、グランドゴルフ、散歩等々。久方ぶりの孫相手は、さすがに疲れます。

(村上裕也) 月に1〜2回の剣道の稽古で、多少は体力の維持はできているかなと思うこの頃です。

(茂木晃二) 例年秋のコンサートで、6人編成のジャズバンドで、私はピアノ担当です。ピジュアルではかきませんから、演奏でやります。

(守田志郎) 傘寿を迎え、急に年取った気がします。スポーツジム通いで健康維持を計り、それなりに良き日々を送っています。

(森谷利道) 定期的に医療機関

へは行っています。スポーツクラブには40年所属して体のコントロールをしています。これが友人作りや体維持になっています。皆さんもしてください。

(安威誠) トピックスの一つは、大学の学科の同窓会(初)に参加したこと。大学のクラス意識は希薄で、特に理系の場合は研究室単位が密な関係。卒業したのは、国立大学法人・東京農工大学農学部環境保護学科。環境問題が騒々しい時代で、水俣病、イタイイタイ病など政策は後手後手。その折、環境庁が設立され、国立初の環境関連学科が誕生。その時の優秀な1期生達ですから(私を除いて)、その後

の活躍ぶりは?と、たつぷりの近況報告会と学内、研究室見学など丸1日かけての同窓会。総勢44人のうち、物故者5人、不明者4人、参加者23名、恩師3人。亡くなった同窓生と古希を迎えるというタイミミングが開催の強い動機でした。一期一会、笑顔の解散となりました。

(山田恭久) 10月に満85歳になります。今のところ歩くのも苦ではありませんが、腰やひざは何とか、というところです。

(吉田純三) 8月末に腰を痛めて、歩行がしづらくなってしまう。来年は傘寿になり、是非、大会に参加したいと存じます。

(吉羽文雄) 住み慣れた札幌から関東へ、まもなく移住します。

78回
大会風景
(敬称略)乾杯ご発声
(原正)

黙祷



来賓の方々



初参加会員挨拶

新入会会員挨拶

受付



(伊藤正宏)



(細井伸一郎)



(中森知)



体温チェック

アルコール
消毒

来賓挨拶

(細谷上席執行
役員)

(川端執行役員)



(西郷執行役員)

司会

第二部司会
(忍足恵一)第一部司会
(安部隆)

人気のお弁当



飲み物



春秋ラウンジ

会員皆さんの投稿頁です。
エッセイ・記録・紀行・
趣味・自慢・秘話など歓迎。
1編400字詰め2枚以内。
投稿多数の場合は、掲載で
きないこともあります。

(和田保男) 猛暑は何とか乗り切ることができました。老老介護の日々です。

(渡邊洋二) なんとか元気にやっています。特別支援教材の普及活動を通して、各地の教育委員会や学校の先生方に喜ばれています。

(綿引英子) 18年間続けた私の大好きなフラダンスが、7月で解散となりました。ちょうど87歳も過ぎ、自分の身体もついていけなくなり、よかったのかな?と思っています。ウクレレは、続けています。

『販売局の想い出』③

田中 勲

1980年(昭和55年)8月、販売局支局制度がスタートした。従来は各県にあった支社の中に販売局担当者がいた。市販ルートに合わせるように支局が新設され、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡に支局が置かれた(高松は分局)。

長野支社に転勤していた私に近畿支局勤務を命じられた。担当エリアは近畿2府4県。今まで直販業務がメインであったが、市販専門担当となりいささか戸惑いがあった。大阪を中心に京都、神戸にある取次会社の本社や支店とのコンタクトを始め、近畿の書店とのリレーションを強化するため、支局員6名は連日担当地区への促進を強化した。毎年春と秋、学研はじめて大手出版社数社は必ず大型企画を発行した。そのため、書店への販売協力依頼が強化された。

販売策としてイベントの実施が多かった。大型企画販売促進のために高額の報奨金が用意された。この報奨金を活用して旅行企画、食事企画、観劇企画などが各社から次々に立案され、これをメインに促進をした。あるとき、百科事典50セットを販売するため、「阪神―巨人戦」観戦企画を立てたことがある。あるルートで阪神側内野特別席入場券50枚を手に入れることが立ち、1セット注文で入場券1枚を提供することにした。阪神―巨人戦甲子園での最終戦ということもあり、たちまち50枚が予約完了となり、喜んだ。だが、1週間前に入場券を手にするまではゆっくり寝られなかった。

この時期、「ムック」全盛時代といってもいい。主に料理テーマのムックがよく売れた。店

抽選会大当たり!!

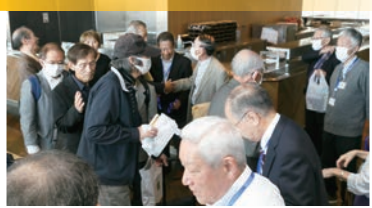


社歌熱唱



閉会挨拶
(塩岡彦)

また会いましょう!



ビンゴ



素敵な賞品



歓談



朝ドラのように、牧野先生は



朝ドラ「らんまん」の主人公は牧野富太郎博士(植物学者)がモデルです。
実は、私の父川西良吉(享年72歳)は理科教育分野で、小学校の教諭をしていました。縁があつて、牧野先生とは胴らん(植物採集したものを入れるもの)を担いで、よく地方に採集に出かけたものです。私も小学2年生の頃から父と一緒に植物採集に同行していました。

朝ドラ「らんまん」の主人公の想い出

川西 義規

売だけではなく、職域販売も賑やかだった。大阪にはムック販売専門書店があり、各地へ出かけて職域販売を展開した。1書店で驚くような部数が動いた。書店の外売活動は少し衰えてきたが、まだまだ積極的に取り組む店が見られた。特にローカルの書店は外売りに力を入れていた。その後、徐々に外商を縮小する傾向になった。

研究熱心で、採集に夢中でした。あるとき、私が植物の葉一枚を持って先生に名前を聞いたところ、即座に答えられ感激したこともありました。
植物標本は、採集後の処理が大変です。標本の作り方も複雑で、花、葉、茎、根が付いているものが基本です。生ものですからそのまま置いておくとカビが生えたり腐ったりしますので、乾燥することが大切です。そのため新聞紙にはさみます。新聞紙には植物の水分を吸収する利点があり、よく使用されます。標本はかなりの量になり、保管に苦労した記憶があります。父は同時に昆虫採集もしており、昆虫の標本作りも大変でした。朝ドラでいろいろな想い出がよみがえり、私にとって大変貴重なドラマでした。

トットちゃん、赤松小、川西校長先生

佐藤 八郎

『続窓ぎわのトットちゃん』が発売され、再び注目されている黒柳徹子ですが、彼女がトモエ学園の校長先生と巡り合うきっかけとなったのは、その前に在籍していた公立小学校を追いつたことが原因でした。

東急大井町線北千束駅に隣接する、その小学校、赤松小学校は私の母校でもあり、昭和30年代、学研社員・役員の子供たち

の多くが通学、正門から1分ほど坂を下って左折した場所には古岡オーナーのご自宅がありました。

当時の学校長は理科教育の大家だった川西良吉先生で、学研が発行していた初期のポケット図鑑や「学習」「科学」の本誌監修者として全面的に協力されていました。

その頃、小学校の教員旅行の際に撮られたものでしょう、同校の教諭でもあった母が川西校長に徳利でお酌しているスナップがありました。学校現場での日頃のお礼を伝えつつ、学研営業部に在籍していた私の父（佐藤龍雄）のフォロワーをしていたのかもしれない。

今から4年ほど前、私は武蔵小杉のある自治会から「昭和歌謡漫談」のイベントを依頼されたのですが、自治会の幹事だった小野さんという女性と打ち合わせをしていた際、かつて私が学研に勤めていたことを話すと、奇遇にも、小野さんのお父様が学研春秋会の川西義則さんであり、おじい様が川西校長先生だったことが判明してビックリ。先日、父の古い写真を整理していたところ、お若い頃の川西義規さんが写っている社内旅行の集合写真が何枚も出てきました。

おそろべし、学研の絆。両親と私の三人は、川西家三代にわたり御縁が続いていたのです。

駅ナカで発見⑪

田中 勲

姨捨駅（篠ノ井線）

ホームベンチは
あっち向いてほい

山国信州のど真ん中を南北に走る路線がある。それが篠ノ井線で、塩尻駅〜篠ノ井駅間（約6km）を走る。メインの列車は名古屋〜長野間を走る特急「しなの」。長野駅を発車すると20分ほどで姨捨駅を通過する。

普通列車に乗車すると、現在では珍しいスイッチバックをしてホームへ入るが、特急はホームに入らない。

姨捨山は深沢七郎の小説『楢山節考』で知られている。年若い親を捨てるといふ民話があるとのことだが、実際には存在しなかったという。深刻な名前とは反対に、姨捨駅は素晴らしい眺望で旅心を満喫させてくれる。その上、全国の駅の中で、この駅だけと思われるホームの椅子の向きに思わず笑みが出る。

他駅ではホームの椅子は線路に向かって座るが、この駅は、あっち向いてほい、とばかりに、線路にはお尻を向けている。

「どうぞ景色を見てください」とJRは自慢している。この景色は、旧国鉄時代、国内3大車窓のひとつに選ばれていた。普通列車で行き、気の済むま



でベンチに座ってこの景色を楽しむと長生きしそうだ。

彼岸花 座間蟹澤公園
西郊數里訪幽林 西郊 數里 幽林を訪えば
一面花叢緑樹蔭 一面の花叢 緑樹の蔭
紅白千莖如繡毯 紅白 千莖 繡毯の如し
騷人誰愛獨微吟 騷人 誰か愛しまん 独り微吟す
正 軒 原

彼岸花（原 正）



春・秋・会・告・知・板

★春季大会は五月二十五日(土)

第七十九回春季大会は右記月日に、アートホテル日暮里ラングウッド（JR日暮里駅より徒歩3分）で開催します。ぜひご出席ください。

★年会費納入のお願い

会費未納入の方は、ぜひお早めに納付をお願いいたします。お問い合わせは谷口義博幹事（会計担当）まで。

電話〇四五―五〇一一―九六〇

★会員ご逝去のご連絡のお願い

会員が亡くなられた場合、弔電、ご香料の手配をしています。

発行〓学研春秋会事務局 〒155-8505 横浜市磯子区永取沢一五〇（四十一三〇）四

電話・FAX 〇四五―七七四―一三三〇

発行人〓鈴木 昭三 編集人〓森 一郎

幹事〓安部 隆／本多由利子／忍足 恵一／村上 裕也／

谷口 義博／菅原徳太郎

印刷〓株学研スマイルハートフル